

大阪経済記者クラブ会員各位

関目商店街活性化イベント
広げよう 国際理解を 関目から！
～小学生による小さな商店街のフェアトレードチョコ屋さん～

■問い合わせ先

大阪商工会議所 東支部

横山 武史 TEL：06-6358-6111

関西大学政策創造学部 深井麗雄ゼミ

上村 彩由里 TEL：090-5655-7372

■要旨

大阪商工会議所 東支部は、関目商店街振興組合（大阪市城東区）、関西大学政策創造学部深井麗雄ゼミとともに、関目の商店街活性化イベント「広げよう 国際理解を 関目から！～小学生による小さな商店街のフェアトレードチョコ屋さん～」を2月12日（水）に、実施します。

本イベントは、大阪市立関目東小学校とのタイアップ事業です。同校では、総合的な学習で国際理解教育に取り組んでおり、今回は関目商店街との連携により、初めて校外学習として、5年生の児童全員（73名）が、同商店街内の店舗前で①フェアトレードチョコレートの販売、②不要衣料品の回収、③国際理解教育の学習成果発表（児童作成のポスター掲示）を実施します。国際理解教育は全国で行われていますが、商店街を拠点とした取り組みは珍しいものです。

児童が取り扱うフェアトレードチョコレートは、児童労働問題に取り組む特定非営利活動法人ACE（東京都、岩附由香代表）の委託販売です。児童が授業時間にオリジナルのラッピングを施したチョコレートを商店街に持ち込み、国際理解教育の学習成果をまとめたポスターを店頭に掲示した前で、チョコレートの販売、発展途上国へ送るために不要衣料品の回収への協力呼びかけを行います。

さらに、3月1日（日）には、関西大学の大学生が独自に作成した「世界マップ」を用いたおつかい企画も実施します。「世界マップ」とは、商店街で販売されている商品も、様々な形で世界とつながっていることを伝えるためのものです。例えば、マップ上のフランスには、フランス語が語源であるコロッケを商店街内の販売店名とともに示します。3月1日に実施するおつかい企画では、この世界マップを見ながら、児童たちで家族に贈るプレゼント（お土産）を500円以内で購入してもらいます。また、クイズなどを実施して、小学生に景品を贈呈します。

■概要

日 時：①フェアトレードチョコレート販売
平成 26 年 2 月 12 日（水）／10：00～12：00 } ①、②ともに雨天決
行
②「世界マップ」※を用いたおつかい
平成 26 年 3 月 1 日（土）／12：00～16：00

場 所：関目商店街アーケード内

参加者：①大阪市立関目東小学校 5 年生全員 73 名、関西大学学生 15 名

②大阪市立関目東小学校 5 年生有志、関西大学学生 15 名

■主催

関目商店街振興組合

大阪商工会議所

関西大学政策創造学部 深井麗雄ゼミ

■協力

大阪市立関目東小学校

※「世界マップ」の例

・チョコ→メキシコ

…”chocolate”の語源はアステカ王国（メキシコ）のナワトル語とされている。

・コロッケ→フランス

…起源はフランス料理のクロケット（croquette）にある。クロケットは、ホワイトソースのアパレイユ（ミンチにした魚肉やとり肉などとベシャメルソースを混ぜたもの）にパン粉をつけて調理したもの

・5本指ソックス→スペイン

…昭和 45 年、スペインにて世界で始めて工業的に生産された

・草履→中国

…古代中国で藁の履物を表した語

・サンドイッチ→イギリス

…19 世紀イギリスでサンドイッチ伯爵が、賭け事をしながら食事を取れるよう、パンの間にコンビーフや干し肉等を挟んだのが、サンドイッチの始まり

・スイセン→スペイン・ポルトガル

…原産地はスペイン・ポルトガル

・本→紙でできている→エジプト

…古代エジプトで発明された「パピルス紙」が紙の起源

■注

①関目商店街振興組合とは

京阪電鉄関目駅の南に伸びる、下町に情緒あふれる雰囲気の魅力の商店街です。商店街には約25の店舗が連なっています。

②関西大学政策創造学部の学生が関目商店街に関与している理由

この学部では、政策の立案や町づくり政策について研究をしており、実際に社会貢献することを目標としています。その中で商店街の活性化を研究するチームがあり、その学生たちが関目商店街に注目しました。

・・・・・・・・・・・・・・・・

以下これまでの活動は、省略